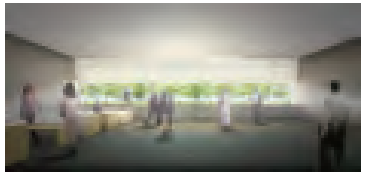
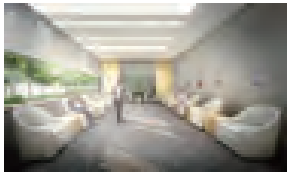
東京紀尾井町キャンパス3号棟について

学校法人城西大学は、創立４０周年を記念し、2005 年 1 月に紀尾井町にキャンパスを開設し、法人傘下の各キャンパスを有機的に繋ぎ、大学の国際化を著しく推進しました。紀尾井町キャンパスの重要性と利用度は年々高まり、引き続き２号棟、４号棟へと教育研究施設が広がり、産業界との連繋の拠点としても飛躍的に活性化しています。それらに加えて、このたび、紀尾井町に隣接する平河町に ３ 号棟を竣工いたしました。新設された城西大学理学部数学科の応用数学コース、城西国際大学大学院、国際アドミニストレーション研究科、人文科学研究科グローバルコミュニケーション専攻、メディア学部映像芸術コースなど、新しいフィールドの課程が先進的に活用できるキャンパスとしてスタートいたします。この３号棟は、災害に対する備えも充実しており、学生や教職員はもとより近隣住民の万一の避難の際に必要となる様々な災害物資を収納する災害備蓄倉庫も完備しており、安心安全の建物です。
さらに、分子生物学の大石道夫教授の化石コレクションを中心に本学姉妹校である瀋陽師範大学古生物博物館との共同で恐竜や化石のコレクションを展示する化石ギャラリーも併設しており、子供から大人まで、地球と地球科学への関心を深めることをめざして、地域に開かれたキャンパスの施設となることを願っております。

学校法人　城西大学

紀尾井町からの発信

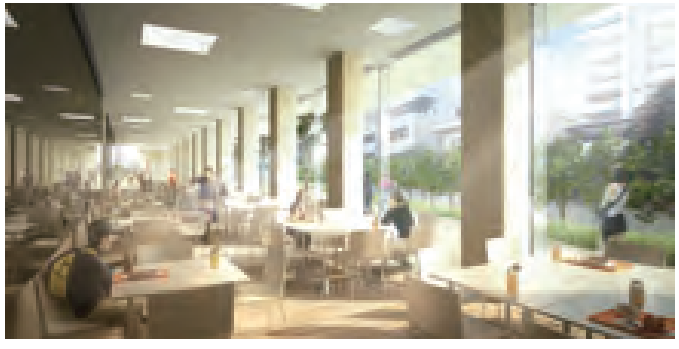


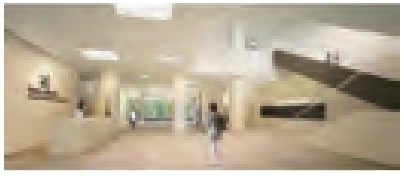


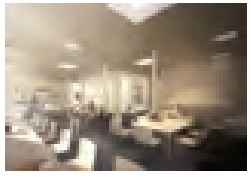
□国際会議場

城西大学の各キャンパス・ラーニングセンターなどの教育拠点をつなぐ拠点として、国際会議場を設けました。
国際会議場には、同時通訳ブースを設け、国際交流を円滑に促進する場となります。
また、災害時にはキャンパス全体の防災対策拠点としての役割を果たします。

都心での学生生活

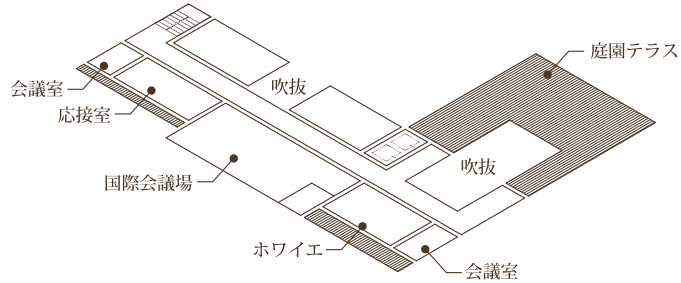




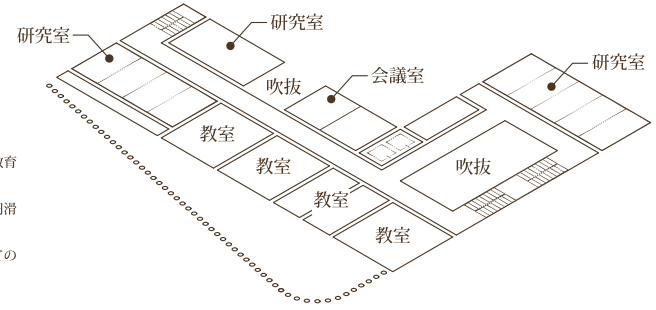


□ラウンジ・ラーニングスペース

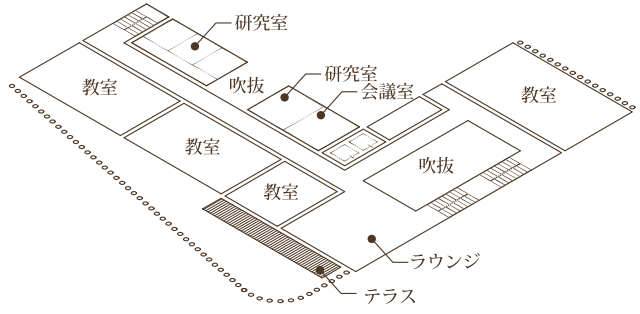
学生にとって充実した時間を過ごす場として、各所にラウンジを設けました。
さらに、各教室はカリキュラムの変更に柔軟に対応できるフレキシブルな空間構成となっています。



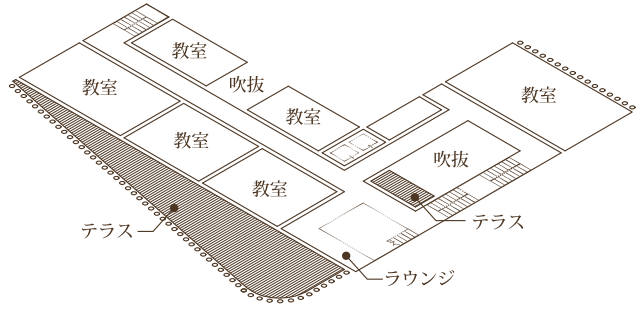
5階



4階

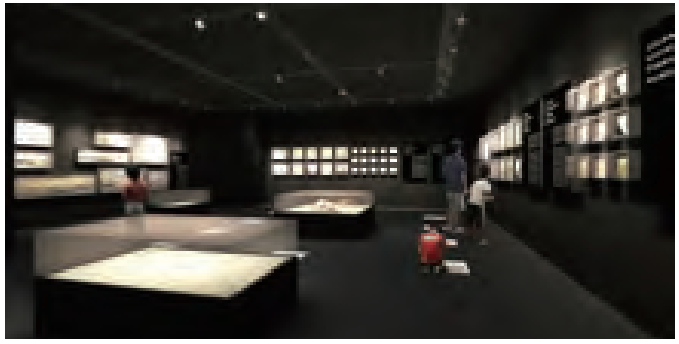


3階



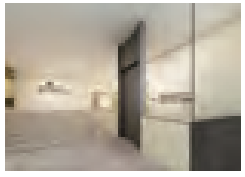
2階

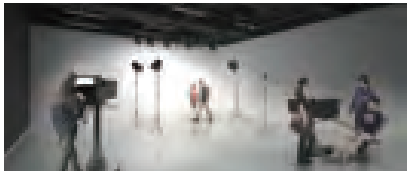
特色ある教育施設



□大石化石ギャラリー

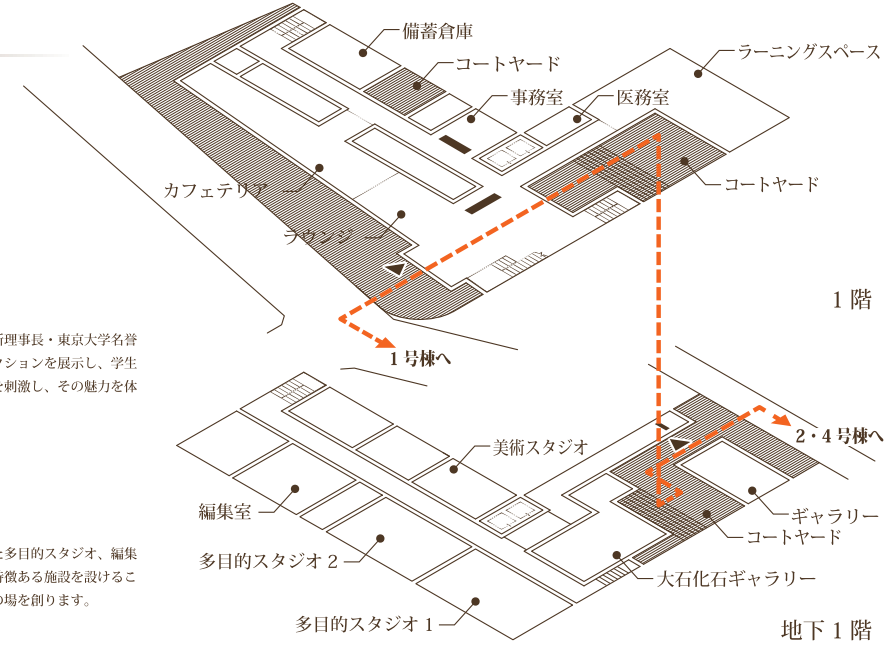
大石道夫先生（かずさＤＮＡ研究所理事長・東京大学名誉教授）により収集された化石コレクションを展示し、学生や地域のこどもたちの知的好奇心を刺激し、その魅力を体感してもらうための施設です。





□多目的スタジオ

最新鋭の映像音響編集機器を備えた多目的スタジオ、編集室等を設置しています。さらに、特徴ある施設を設けることで、学生の個性を尊重した教育の場を創ります。



積極的な環境対策

地球温暖化
地球資源
自然環境

→ Co2 排出抑制
資源の高効率利用
自然エネルギーの活用
ヒートアイランド現象の抑制

■資源の効率利用、Co2 排出抑制

- 明るさセンサーによる調光運用
- 人感センサーによる自動点滅運用
- 外気処理機のファンインバーター制御
- 高効率熱源機器、ファン、高効率モーター
- エコマテリアル、リサイクル材の採用
- 超高効率変圧器の採用
- LED 照明器具
- 熱源台数制御
- 空調機の集中管理
- 節水型器具

■ヒートアイランド現象の抑制

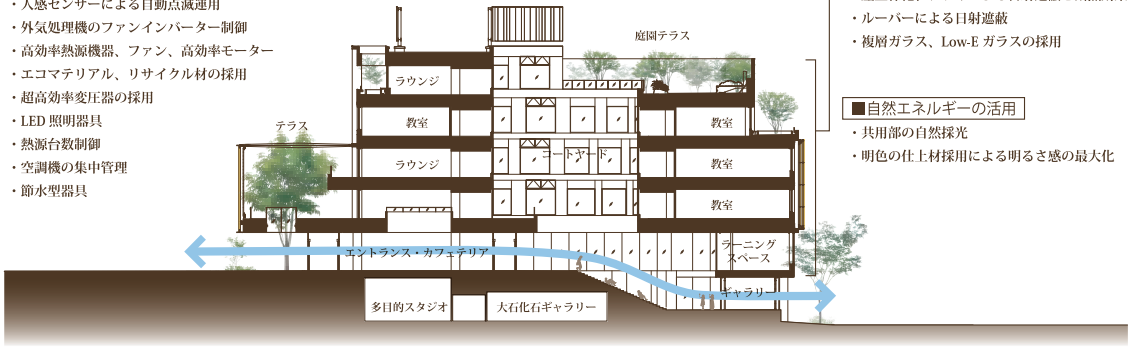
- 敷地内緑化、屋上緑化
（都・区で定められた数値の 170％の緑化量）
- 潜熱放出による顕熱排熱抑制

■負荷の削減

- 屋上緑化、デッキによる日射遮蔽と断熱効果
- ルーバーによる日射遮蔽
- 複層ガラス、Low-E ガラスの採用

■自然エネルギーの活用

- 共用部の自然採光
- 明色の仕上材採用による明るさ感の最大化



災害時の対策拠点

城西グループの全キャンパスの防災中心機能

国際会議場を災害対策室として整備し、安否確認と防災情報収集に必要な情報設備を整備することで首都圏に広がる城西グループ全体の防災対策拠点として機能します。

一時避難場所として震災後３日間

教室	約	1260	㎡
ラウンジ	約	170	㎡
カフェテリア	約	170	㎡

城西グループの対策拠点として震災後７日間

国際会議場	約	155	㎡